

てらこや

平成 30 年
7 月 24 日(火)
大智院

おやくそく

- 一、 明るいあいさつ げんきなへんじ
- 二、 きたときよりも うつくしく
- 三、 よくかんがえ すすんでまなぶ

※方丈様のおはなし 全4話※

『一了人共『生きる知恵を学びあう』②』

毎年なのですが、「おはようございます」「ありがとうございました」子ども達の元気な挨拶が耳に残ります。子ども達の感性のすばらしさをも感じます。

なかでも、寺子屋でグループ活動をしていると、とてもほほえましく感じる時がしばしばあります。例えば、自分の考えや言いたいことを伝える場面です。このことは、とてもよい事と思いません。同じ内容でも、自分の言葉で人に伝えることは、考える・まとめる・言葉の選択・発表・態度・聴く・表現・などなど個々に必要な能力を学びあう要素が含まれているのです。

こうした活動を通して反復練習をしているうちに、ちゃんと自分の考えをもてるようになるものと思います。もちろん失敗経験も成長には欠かせないことなのです。 : ③へつづく

※今日の感想※

☆不審者がこわかった。

一年 小林 蓮

☆不審者には気を付けようと思った。

五年 佐野 美咲

※『おまわりさんのお話』※

今年も知多署の石川貴之さん、高木博光さんに来て頂き、連れ去り、不審者からの声かけ防止、交通安全について夏休みに注意しなければいけない生活安全のお話を伺いました。

知らない人にはついていけません。みんなでないといけません。みんなにいいよう。



「きちんと知らせる。おごえで助けを呼ぶ。にげる。『つみきおに』の五つの約束を忘れないこと。そして、自転車に乗るときは、「とまる・まつ・みる」を心がけること。横断するときは、しっかりと手を挙げて、自分の存在をまわりに伝えることが大切だと教えていただきました。また、駐車場内での事故が多発しているため、保護者の方も気を付けて下さいとお話をいただきました。

お巡りさんとのやくそくを守り、安全で楽しい夏休みを過ごしていきたいでしょう。

※保護者の集い※

てらこやでの取り組みについての話のあと、家庭学習、漫画、ゲーム、宿題、自転車、道路の悩みや工夫など話し合った。てらこやでは異年齢の小集団活動の中で危険に対する予知能力や仲良くする方法などを体験的経験的に過ごします。これから見学相談遠慮なくお申し出ください。



今日の参加者

子ども 九十人
大人 十五人

明日 25 日
お迎え時間 11 時
お願いいたします。

明日七月二十五日(水)の持ち物

○筆記用具・夏休みの友や課題

風呂敷 ぞうきん一枚(毎日)

★てらこやは八時スタートです。

五分前行動を心がけよう!